

事業計画書

事業名	医療・介護・福祉を学ぶ会 事業
団体名	千葉県 東葛介護・福祉塾

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>平成26年4月時点で、松戸市の65歳以上の人口は約11万2千人、高齢化率は23.1%です。</p> <p>今後高齢化がさらに進み、平成37年(団塊の世代が後期高齢者になる2025年)には、約12万7千人、高齢化率が27.1%と予測されています。</p> <p>また少子高齢化により、独居高齢者の増加で、常盤平団地の高齢化率は50%を超えているデータもあります。</p> <p>高齢者の中でも、介護保険サービスを必要としている、要支援・要介護認定者数は、平成26年度で約1万8千人。こちらも増加傾向となっております。このため、現役世代の市民が、地域の高齢者を支える街づくりが急務です。</p> <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢化率上昇の様々な地域問題を、現役世代の市民が知る・学ぶ機会が少ない。 2. 医療・介護・福祉人のコミュニティの場所が少なく、横の繋がりが(多職種連携)が不十分。 <p>上記のような超高齢社会の松戸市では、市民ひとりひとりの「地域高齢者を支える」という意識が必要です。</p> <p>※超高齢社会・世界保健機構(WHO)の定義では高齢化率21%以上の社会</p>
<p>事業の目的</p>	<p>目的①</p> <p>「医療・介護・福祉」をテーマに、外部講師を招いた勉強会を開催。市民に関心を持ってもらうための啓発活動を行う。</p> <p>1人でも多くの方に知る機会をつくり、様々な課題に関心を持って頂く。</p> <p>目的②</p> <p>医療・介護・福祉人の交流の場所を提供。</p> <p>情報交換を行い、横の繋がりが(多職種連携)を深め、市民に対して質の高いサービス提供が行える街づくりに貢献する。</p>

事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>① 学ぶ会 「医療・介護・福祉」をテーマに毎月1度、外部講師（費用発生なし）を招いて勉強会と交流会を開催。 対象：会員、松戸市民 参加費1人¥100（会場使用料、会運営費として） 30名予定</p> <p>② 拡大学ぶ会 「医療・介護・福祉」をテーマに年間5回（4月・5月・7月・9月・11月）、外部講師（費用発生あり）を招いて、ご高齢者などの幅広い層の市民を勉強会へ招待。 対象：会員、松戸市民 参加費1人¥100（会場使用料、会運営費として） 50名予定</p> <p>③認知症サポーター養成講座の開催 松戸市あんしん一声運動（オレンジ声掛け隊）の周知、認知症サポーター養成講座の開催。</p> <p>松戸市内企業向けの認知症サポーター養成講座を検討中。 市内サービス業（小売業・金融業など）企業を対象。</p> <p>④介護施設見学会 市内の介護施設（特養・老健・有料老人ホームなど）の見学会。</p> <p>2 スケジュール テーマ案は参加者からのアンケートより集計、役員会によって決定。 下記スケジュールは、現在案として出されているテーマ予定。 原則、テーマについては各会1回完結。</p>
------	--

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	拡大学ぶ会「高齢者の虐待 起こる原因 その対応策とは？」	松戸市民会館会議室
5月	拡大学ぶ会「認知症という病気」 学ぶ会「認知症サポーター養成講座」	松戸市民会館会議室
6月	学ぶ会「介護施設の選び方」 学ぶ会 校外学習 介護施設見学会	松戸市民会館会議室 見学先施設調整中
7月	拡大学ぶ会「在宅医療 地域ができる連携とは？」	松戸市民会館会議室
8月	学ぶ会「終活とは？」	松戸市民会館会議室
9月	拡大学ぶ会「経管栄養について 胃ろう？鼻腔栄養？IVH？」	松戸市民会館会議室
10月	学ぶ会「正しい口腔ケア」	松戸市民会館会議室
11月	拡大学ぶ会「終末期医療について」 企業向け 認知症サポーター養成講座	松戸市民会館会議室
12月	学ぶ会「看取りはどこで？」	松戸市民会館会議室
1月	学ぶ会「ガンについて」	松戸市民会館会議室
2月	学ぶ会「高齢者が必要とするリハビリについて」	松戸市民会館会議室
3月	学ぶ会「地域包括ケアシステムの現状」	松戸市民会館会議室

<p>既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)</p>
<p>事業の目標</p>	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。) ※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <p>①会員 38 名 (平成 27 年 9 月時点) → 目標会員 100 名 1 人でも多くの方にお越し頂き、課題を学び、意識を高めて頂く。 そして超高齢社会の地域に、何か貢献したいと想う市民を増やしたい。 医療・介護・福祉人は多職種で連携しながら、業務のレベルアップを図り、市民への提供サービスの質を高める。</p> <p>②松戸市 オレンジ声かけ隊 (認知症サポーター養成講座受講者) 松戸市民登録状況 (平成 27 年 4 月末現在) 2,605 人 → 目標 2,800 人 (当団体主催で 200 人を目標) 「認知症」を理解して頂き、高齢者を地域で見守る体制づくりに貢献する。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>①活動継続 当団体の取り組みが市内全域に広がるよう、また今後の新しい課題に対応するため「学ぶ会」の活動は継続する。</p> <p>②他市民活動団体との連携 同テーマの他市民活動団体と連携 (連絡協議会を設立) して、力を合わせて地域高齢者にやさしい街づくりへ貢献する。</p> <p>③若い世代の育成 市内の学校法人と連携し、 医療・介護・福祉を志す若い世代の育成へ貢献する。</p>

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 39,000	学ぶ会 参加費 ¥100×30名=¥3000 13回
	事業収入	¥ 10,000	拡大学ぶ会 参加費 ¥100×20名=¥2000 5回
	事業収入	¥ 5,000	校外学習 「介護施設見学会」参加費 ¥500×10名
		自己資金の合計額 (A)	¥ 54,000
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 154,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	外部講師謝礼 ¥15000×5回予定
	会場使用料	¥ 22,360	学ぶ会 年13回 ¥1720×13 松戸市民会館会議室
	会場使用料	¥ 1,920	法人向け認知症サポーター養成講座 会場
	印刷費	¥ 7,500	学ぶ会資料作成 A4サイズ用紙 20枚×30名分=600枚×12回 7200枚 (500枚×15冊)
	印刷費	¥ 1,500	学ぶ会 広報チラシ作成 1回100枚×13回 1300枚 (500枚×3冊)
	印刷費	¥ 500	学ぶ会 アンケート用紙 40枚×12回 500枚
	印刷費	¥ 15,000	パンフレット作成 120部
	材料費	¥ 2,000	学ぶ会 「正しい口腔ケア」 嚥下実験材料費
	消耗品	¥ 21,600	クリップボード ¥324×50個 ボールペン ¥108×50本
		対象経費の合計 (D)	¥ 147,380
その他経費	役員会 会場使用料	¥ 1,620	270×6回 松戸市民会館会議室
	ガソリン代	¥ 4,000	校外学習「介護施設見学会」
	ドライバー保険	¥ 1,000	校外学習「介護施設見学会」
		その他経費の合計 (E)	¥ 6,620
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 154,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。